

## 別紙様式 2

授業科目名	コミュニケーションの心理学	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	基礎教育科目	開講時期	後期（9月5日～1月26日）
学部・学科等	子ども生活学部	曜日	月曜日
必修・選択区分	選択	時限（時間）	4限（14:45～16:15）
標準対象年次	2学年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	宇都宮共和大学長坂キャンパス
担当教員名	杉本太平		
電話番号（代表者名）	028-649-0511	e-mail アドレス	
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p>&lt;授業の目標及びねらい&gt;</p> <p>本授業では、コミュニケーション力、積極的に対人援助をする意欲と能力、および地域における世代間交流活動の支援が出来る専門性を高めるために、人と人がより良く理解し合えるためのコミュニケーション理論と技術を学ぶ。また、コミュニケーションの発達について理解し、コミュニケーションに困難を抱える子どものかかわりについても学ぶ。コミュニケーションはことば（バーバル）とそれ以外の方法（ノンバーバル）によって行われるが、それぞれの意義と効果について理解する。また、自身のコミュニケーションの傾向について自己理解を深め、コミュニケーションの実践力を培う。</p> <p>&lt;前提とする知識・経験&gt;</p> <p>特になし</p> <p>&lt;授業の具体的な進め方&gt;</p> <p>授業で配布する資料を中心に講義と「ヒューマンレレーション・スキルトレーニング(Human Relation Skills Training)=HRST」としての行為法（心理劇・ロールプレイ）の体験学習（アクティブ・ラーニング）を行う。</p> <p>&lt;授業計画&gt;</p> <p>第1週 バーバル・ノンバーバルコミュニケーション</p> <p>第2週 心理学的なコミュニケーションの意味・概念</p> <p>第3週 コミュニケーションと認知（理解）</p> <p>第4週 様々な生活場面でのコミュニケーションの特徴や内容</p> <p>第5週 様々な生活場面でのディスコミュニケーションと改善</p> <p>第6週 自分自身のコミュニケーションの傾向を知る</p> <p>第7週 コミュニケーションと発達</p> <p>第8週 乳幼児への共感と応答、ことばの育ちの支援法</p> <p>第9週 心理学的な側面でのコミュニケーションが果たす社会的な影響や課題</p> <p>第10週 コミュニケーションと集団心理</p> <p>第11週 遊びにおけるコミュニケーション力の育ち</p> <p>第12週 コミュニケーションの困難さの理解とその対応</p> <p>第13週 コミュニケーションと障がい</p> <p>第14週 メディアとコミュニケーション</p> <p>第15週 自己学習の成果報告とまとめ</p> <p>&lt;教科書・参考書・教材と入手方法&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 なし</li> <li>・参考書 春原由紀編著・杉本太平共著『精神保健』 樹村房 リタ・L. アトキンソン他著内田一成監訳『ヒルガードの心理学』ブレーン出版</li> </ul> <p>&lt;成績評価法&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容の理解（毎回の授業で提出する課題やコメントシートの内容から理解度を評価する）20%</li> <li>・研究発表（調査したことを要約し言語化できているかを評価する）30%</li> <li>・レポート（コモンルーブリック・レポート評価基準を用いる）50%：</li> </ul> <p>&lt;教員からのメッセージ&gt;</p> <p>ワークを楽しみながら実践力の向上にチャレンジしてください。理論と実践は表裏一体のものとして深く学ぶ経験になれば幸いです。</p>		

